

平成23年度財団法人紀南環境整備公社
第2回理事会・第1回評議員会合同会議
(平成23年6月25日(土)開催)

議事録

財団法人紀南環境整備公社

**平成 23 年度財団法人紀南環境整備公社
第 2 回理事会第 1 回評議員会合同会議議事録**

1 開催の日時

平成 23 年 6 月 25 日（土） 午前 10 時 30 分

2 開催の場所

田辺市新庄町 3353-9

和歌山県情報交流センター Big・U 多目的ホール

3 出席者

別紙出席者名簿のとおり

4 議案

第 3 号議案 平成 22 年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について

第 4 号議案 平成 22 年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算について

5 開会

事務局が、会議の開会を宣言した。

（開会挨拶）

真砂理事長が「役員及び評議員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、ご参集いただき、誠にありがとうございます。

本日の理事会・評議員会合同会議は、平成 22 年度の事業報告及び収支決算についてご審議いただくため、開催したものでございますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、公社事業につきましては、皆様ご承知のとおり、5 月 15 日に理事会を開催し、最終候補地として田辺市稲成地区を選定させていただきました。

現在、農繁期のため、稲成地区の方々とは、具体的な協議には至っていませんが、来月以降、地元説明会等を行い、地元の皆様、地権者の方々のご理解が得られるよう努力して参りたいと考えてございます。

なお、稲成地区をはじめ、秋津川地区、串本町高富地区の方々にも、理事会の当日、候補地の選定結果を報告させていただいたところでございます。

最終候補地を選定するに至るまで、調査の実施等におきまして、それぞれの地元の方々には多大なるご協力をいただきましたことを、感謝申し上げたいと思います。

いよいよ公社事業は実質のスタートラインに立つことになりました。

これからまだまだ正念場となる局面が続くこととなりますが、「安全・安心な施設の整備」を目指し、構成団体一丸となって、特に私は、最終候補地の地元市長として、最善の努力は尽くすつもりですけれども、皆様も、それぞれ地元候補地が選定されるんだというお気持ちで、なお一層のご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。」と開会挨拶を行った。

（新任評議員紹介）

事務局が、出席者についての説明を行い、その中で新任の岩田評議員の紹介を行

い、岩田評議員が「初めての理事会・評議員会でございます。今後ともよろしくご指導いただきますようお願いします。」と就任挨拶を行った。

(新任事務局職員紹介)

事務局が、新任の中山専門員、里際主事の紹介を行った。

(議長就任)

事務局が、議長選出について、理事長に議長就任を依頼したい旨提案したところ、全員異議がなかったので、理事長が議長に就任した。

(代理出席者の承認)

議長が、代理出席者の承認について諮ったところ、異議なく承認された。

(会議の成立)

議長が、出席者数の確認をしたところ、出席者は定足数を満たしていたので、会議の成立を宣言した。

(議事録署名人選任)

議長が、議事録署名人の選任について提案し、議長から指名することについて諮ったところ、全員異議なく、理事会からは森川理事、田嶋理事が、評議員会からは武田評議員、出水評議員が選任された。

6 議事

(第3号議案及び第4号議案の審議)

議長が、第3号議案及び第4号議案は、関連議案なので、一括して審議する旨を述べ、議長の指示により、事務局が、両議案の詳細を一括して説明した。

次に、議長が、小出監事に対し監査報告を求めたところ「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び財団法人紀南環境整備公社寄附行為第20条第5項に基づき、平成22年度財団法人紀南環境整備公社の財産並びに業務執行の状況について監査を行ったところ、監査報告書のとおり適正に処理していることをご報告申し上げます。」との報告があった。

その後、議長が、理事、評議員に対し質問、意見を求めたが特になく、第3号議案及び第4号議案について、議長が諮ったところ、全会一致で可決、承認された。

7 閉会

議長が、以上を持って本日の議事をすべて終了した旨を述べ、事務局が閉会を宣言した。

午前11時00分

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は、次のとおり署名押印する。

平成23年6月25日

議長 真砂 元敏 

署名人 森川 起子 

署名人 田嶋 勝正 

署名人 武田 丈夫 

署名人 永水 豊数 

平成23年度第2回理事会・第1回評議員会合同会議出席者名簿

●役員

- 理事現在数8名
- 出席理事数7名
- 表決を委任した理事数1名

役 名	氏 名	役職名	代理出席者等
理 事 長	真砂 充敏	田辺市長	
副理事長	田岡 実千年	新宮市長	
副理事長	橘 一郎	田辺商工会議所会頭	欠席（表決を真砂理事長に委任）
理 事	田嶋 勝正	串本町長	
理 事	寺本 眞一	那智勝浦町長	
理 事	森川 起安	南紀くろしお商工会会長	
理 事	森田 敏行	日置川町商工会会長	
理 事	保田 栄一	和歌山県環境生活部長	
監 事	小出 隆道	上富田町長	
監 事	瀬古 伸廣	新宮商工会議所会頭	専務理事代行 奥村 建二

●評議員

- 評議員現在数18名
- 出席評議員数14名（うち代理出席者1名）
- 表決を委任した評議員数4名

氏 名	役職名	代理出席者等
朝本 紀夫	すさみ町商工会会長	
泉 庄治	本宮町商工会会長	欠席（表決を出水評議員に委任）
岩田 勉	すさみ町長	
岩手 仁士	龍神村商工会会長	
植田 英明	みなべ町商工会会長	
大和田 隆栄	北山村商工会会長	
岡本 重之	白浜町商工会会長	
奥田 貢	北山村長	欠席（表決を大和田評議員に委任）
黒田 庫司	牟婁商工会会長	欠席（表決を岡本評議員に委任）
小谷 芳正	みなべ町長	
小原 周作	古座川町商工会会長	欠席（表決を須賀評議員に委任）
三軒 一高	太地町長	住民福祉課長 三好 通弘
須賀 節夫	串本町商工会会長	
武田 丈夫	古座川町長	
出水 豊数	中辺路町商工会会長	
長井 保夫	上富田町商工会会長	
花本 健	大塔村商工会会長	
水本 雄三	白浜町長	

平成 2 3 年度
第 2 回理事会・第 1 回評議員会
合同会議

議案書

平成 2 3 年 6 月 2 5 日（土）
財団法人紀南環境整備公社

目 次

第 3 号議案 平成 2 2 年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について	1
第 4 号議案 平成 2 2 年度財団法人紀南環境整備公社社会計収支決算について	6

第3号議案

平成22年度財団法人紀南環境整備公社事業報告について

平成22年度財団法人紀南環境整備公社事業報告については、次のとおりとする。

平成23年6月25日提出

財団法人紀南環境整備公社

理事長 真 砂 充 敏

平成22年度事業報告

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

1 事業概要

平成22年度の公社事業については、昨年度に引き続き、候補地5箇所から最終候補地を選定するため、「最終処分場候補地選定調査」を実施した。

2 実施状況

(1) 広域廃棄物最終処分場整備事業

① 最終処分場候補地選定調査

5箇所の候補地から最終候補地を選定するため、各候補地の現地調査及び環境影響調査を行い、それらを踏まえた整備基本構想案を作成し、候補地選定のための基礎資料とすることを目的に「最終処分場候補地選定調査」を実施した。

■契約者

所在地 和歌山市寄合町23番地 (7セブンビル)

名 称 株式会社 日建技術コンサルタント 和歌山事務所

■調査の期間

平成22年1月19日～平成23年3月31日まで

また、最終処分場候補地5箇所のうち、串本町高富地内の2候補地の面前海域に棲息するサンゴ類と海藻類の分布調査を行い、当該地域の生物群集の資質について学術的な評価を行うため「串本町高富海域における造礁性イシサンゴ類と海藻類の分布調査業務」を実施した。

■契約者

所在地 東牟婁郡串本町有田1157番地

名 称 株式会社 串本海中公園センター

■調査の期間

平成22年5月29日～平成22年12月24日まで

なお、それぞれの調査については、財団法人紀南環境整備公社最終処分場整備に係る技術アドバイザー会議委員の意見を反映させた。

② アドバイザー会議委員との協議

「最終処分場候補地選定調査」の調査内容に関するアドバイスを受けるため、アドバイザー会議委員と協議を行った。

月 日	場 所	備 考
平成22年 9月13日 (月)	独立行政法人 国立環境研究所 (茨城県つくば市)	山田委員、遠藤委員
平成23年 1月18日 (火)	和歌山大学 システム工学部 (和歌山市)	金子委員
平成23年 2月15日 (火)	ふるさと自然公園センター (田辺市)	玉井委員
平成23年 2月16日 (水)	和歌山大学 システム工学部 (和歌山市)	金子委員
平成23年 2月17日 (木)	和歌山大学 システム工学部 (和歌山市)	井伊委員
平成23年 2月18日 (金)	独立行政法人 国立環境研究所 (茨城県つくば市)	山田委員、遠藤委員
平成23年 3月 3日 (木)	西牟婁総合庁舎 (田辺市)	久田委員、上野委員
平成23年 3月 8日 (火)	ふるさと自然公園センター (田辺市)	玉井委員
平成23年 3月19日 (土)	株式会社 日建技術コンサルタント (大阪市)	金子委員

③ 各種調査・情報収集事業

各候補地の課題への対応や安心・安全な最終処分場を目指すため、関係機関との協議、及び先進地の視察等を実施した。

月 日	項 目	内 容
平成22年 5月20日 (木)	舞鶴市一般廃棄物最終処分場 (京都府舞鶴市)	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について
平成22年 5月21日 (金)	(財)エコサイクル高知 (高知県高岡郡日高村)	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について
平成22年 6月 4日 (金)	福知山市環境パーク (京都府福知山市)	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について
平成22年 7月29日 (木)	(財)滋賀県環境事業公社 (滋賀県甲賀市)	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設の運営状況等について
平成22年 8月 5日 (木) ～平成22年 8月 6日 (金)	山梨県庁環境整備課 (財)山梨県環境整備事業団 (山梨県甲府市・北杜市)	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設の運営状況等について
平成22年 9月 3日 (金)	インテックス大阪 (大阪市)	○ ネキスポ関西2010

平成22年 9月14日（火）	環境省廃棄物対策課 （東京都千代田区）	○ 国庫補助対象事業等について
平成23年 1月31日（月）	岡山市山上新最終処分場 （岡山市）	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について
平成23年 2月 1日（火）	明石クリーンセンター （兵庫県明石市）	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について
平成23年 2月17日（木）	環境省、国税庁 （東京都千代田区）	○ 循環型社会形成推進交付金について ○ 租税特別措置法について
平成23年 2月21日（月）	岡崎市北部一般廃棄物最終 処分場（愛知県岡崎市）	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について
平成23年 2月22日（火）	尾張東部衛生組合最終処分 場（愛知県瀬戸市）	○ 施設建設までの経緯について ○ 施設完成後の状況等について

④ 廃棄物排出処理実態の把握

- ・ 一般廃棄物－市町村への埋立廃棄物状況等の調査実施
- ・ 産業廃棄物－和歌山県が実施した実態調査の情報収集
管内中間処理業者に対する処理状況ヒアリング

（２）循環型社会構築に係る普及啓発事業

① 啓発リーフレットの増刷・配布

- ・ 啓発リーフレットを7,000部増刷し、構成団体を通じて地域内に配付した。
商工会・商工会議所会報へ折り込み配布（会員あて）
環境学習教材として小学4年生への配付（環境学習の一環）
市町村役場等施設への設置

② 情報発信・情報公開

公社事業の情報発信の強化を図るとともに、廃棄物排出処理実態状況や各種会議の内容等の情報発信、公益法人としての情報公開（ディスクロージャー）を実施した。

（３）各種会議の開催状況

① 理事会及び評議員会等

- ・ 理事会を2回、評議員会を2回開催し、公社事業の進め方等について協議を行った。

	開催日	会議議題等
第1回理事会・第1回評議員会合同会議	平成22年 6月19日（土）	○ 平成21年度事業報告について ○ 平成21年度収支決算について
第2回理事会・第2回評議員会合同会議	平成23年 2月26日（土）	○ 平成22年度補正収支予算について ○ 平成23年度事業計画について ○ 平成23年度収支予算について ○ 任期満了に伴う評議員の選出について

・ 11 件の議題について書面による表決を行った。

議 決 日	会 議 議 題 等
平成22年 4月 1日（木）	○ 任期满了に伴う財団法人紀南環境整備公社役員の選任について
平成22年 4月 1日（木）	○ 財団法人紀南環境整備公社理事長及び副理事長の選任について
平成22年 4月 1日（木）	○ 財団法人紀南環境整備公社事務局組織規程の一部改正について ○ 財団法人紀南環境整備公社文書規程の一部改正について ○ 財団法人紀南環境整備公社公印規程の一部改正について ○ 財団法人紀南環境整備公社就業規程の一部改正について ○ 財団法人紀南環境整備公社会計規程の一部改正について
平成22年 7月23日（金）	○ 財団法人紀南環境整備公社理事の選任について
平成22年10月 1日（金）	○ 財団法人紀南環境整備公社理事の辞任に伴う後任理事の選任について
平成22年10月 1日（金）	○ 財団法人紀南環境整備公社副理事長の辞任に伴う後任副理事長の選任について
平成23年 1月23日（日）	○ 財団法人紀南環境整備公社評議員の死去に伴う後任評議員の選出について

② 企画調整会議

	開 催 日	会 議 議 題 等
第1回	平成23年 2月15日（火）	○ 平成22年度補正収支予算について ○ 平成23年度事業計画について ○ 平成23年度収支予算について ○ 任期满了に伴う評議員の選出について

③ 拡大調整会議

	開 催 日	会 議 議 題 等
第1回	平成22年 6月 3日（木）	○ 平成21年度事業報告について ○ 平成21年度収支決算について ○ 広報啓発の取り組みについて ○ 一般廃棄物処理事業実態調査及び業務委託料・運営費補助金算定に伴う調査について
第2回	平成22年10月19日（火）	○ 最終処分場候補地選定調査の状況について ○ 埋立処理状況等の調査結果について ○ 今後のスケジュールについて ○ 平成23年度の予算措置について（市町村担当者のみ）

④ 一般廃棄物関係会議

	開 催 日	会 議 議 題 等
第1回	平成22年11月16日（火）	○ 事業計画（一般廃棄物関係）決定のための課題等について
第2回	平成23年 1月27日（木）	○ 事業計画（一般廃棄物関係）決定のための課題等について

⑤ 産業廃棄物関係会議

	開 催 日	会 議 議 題 等
第1回	平成23年 3月16日（水）	○ 産業廃棄物の処理状況と受入予測について

（４）監査の実施

平成21年度における業務ならびに会計監査を5月19日及び24日に実施した。

（５）その他

新公益法人会計基準及び公益法人制度改革への対応を研究するため、各種講習会等に参加した。

月 日	項 目	内 容
平成22年 5月20日（木）	全国公益法人協会への相談 （大阪市）	○ 法人税及び会計処理について
平成22年 6月11日（金）	新公益法人制度説明会 （大阪市）	○ 公益法人移行申請について
平成22年10月15日（金）	公益法人定例講座 （大阪市）	○ 移行後の新法人税制について
平成22年11月 4日（木）	公益法人定例講座 （大阪市）	○ 新法における役員の責任について

第4号議案

平成22年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算について

平成22年度財団法人紀南環境整備公社会計収支決算については、次のとおりとする。

平成23年6月25日提出

財団法人紀南環境整備公社
理事長 真 砂 充 敏

収 支 計 算 書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	147,000	146,978	22	
② 補助金等収入				
県補助金収入	14,537,000	14,065,000	472,000	
市町村補助金収入	40,950,000	40,020,000	930,000	
市町村業務受託収入	30,038,000	30,038,100	△ 100	
③ 雑収入				
受取利息収入	8,000	755	7,245	
雑収入	1,000	0	1,000	
事業活動収入計	85,681,000	84,270,833	1,410,167	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
最終処分場整備事業費支出	40,582,000	40,459,657	122,343	
普及啓発事業費支出	358,000	350,841	7,159	リーフレット
給料手当支出	18,511,034	17,943,473	567,561	派遣職員5名分 (注)
法定福利費支出	5,014,966	5,010,609	4,357	派遣職員5名分 (注)
福利厚生費支出	17,000	16,888	112	派遣職員2名分
会議費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	765,000	716,976	48,024	
通信運搬費支出	0	0	0	
リース料支出	317,000	316,803	197	
消耗什器備品費支出	146,000	0	146,000	
消耗品費支出	32,100	0	32,100	(注)
印刷製本費支出	0	0	0	
車両維持費支出	400,000	391,296	8,704	
委託費支出	0	0	0	
雑支出	18,900	18,900	0	(注)
事業費支出計	66,162,000	65,225,443	936,557	
② 管理費支出				
給料手当支出	15,132,000	15,039,712	92,288	派遣職員2名分
法定福利費支出	2,501,000	2,484,780	16,220	派遣職員2名分
福利厚生費支出	0	0	0	
会議費支出	153,000	27,040	125,960	理事会・評議員会等
旅費交通費支出	448,000	328,020	119,980	
通信運搬費支出	147,000	140,698	6,302	
消耗什器備品費支出	0	0	0	
消耗品費支出	68,628	68,628	0	(注)
印刷製本費支出	637,372	225,928	411,444	(注)
広告宣伝費支出	0	0	0	
図書研修費支出	87,000	86,800	200	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
諸会費支出	0	0	0	
車両維持費支出	150,000	102,744	47,256	
光熱水料費支出	10,000	4,224	5,776	
賃借料支出	343,000	342,580	420	
リース料支出	0	0	0	
支払手数料支出	79,000	62,685	16,315	
租税公課支出	4,000	3,900	100	
支払利息支出	1,000	0	1,000	
雑支出	1,000	0	1,000	
管理費支出計	19,762,000	18,917,739	844,261	
事業活動支出計	85,924,000	84,143,182	1,780,818	
事業活動収支差額	△ 243,000	127,651	△ 370,651	
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出				
減価償却引当資産取得支出	72,000	71,715	285	
② 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1,000	0	1,000	
投資活動支出計	73,000	71,715	1,285	
投資活動収支差額	△ 73,000	△ 71,715	△ 1,285	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
短期借入金収入	1,000	0	1,000	
財務活動収入計	1,000	0	1,000	
2. 財務活動支出				
短期借入金返済支出	1,000	0	1,000	
財務活動支出計	1,000	0	1,000	
財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出	2,044,000	—	2,044,000	
当期収支差額	△ 2,360,000	55,936	△ 2,415,936	
前期繰越収支差額	7,360,000	7,360,530	△ 530	
次期繰越収支差額	5,000,000	7,416,466	△ 2,416,466	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金及び預り金等を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	24,603	24,718
普 通 預 金	6,694,573	13,575,305
定 期 預 金	0	0
未 収 金	4,688,000	34,577,100
前 払 金	27,491	27,550
合 計	11,434,667	48,204,673
未 払 金	3,545,930	40,160,296
預 り 金	528,207	627,911
合 計	4,074,137	40,788,207
次期繰越収支差額	7,360,530	7,416,466

3. 科目間の流用について（注）

科目間の流用については、以下のとおりである。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
事業費－給料手当支出	18,556,000	△ 44,966	18,511,034
事業費－法定福利費支出	4,970,000	44,966	5,014,966
事業費－消耗品費支出	50,000	△ 17,900	32,100
事業費－雑支出	1,000	17,900	18,900
管理費－消耗品費支出	61,000	7,628	68,628
管理費－印刷製本費支出	645,000	△ 7,628	637,372

貸 借 対 照 表

平成 23 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	24,718	24,603	115
普通預金	13,575,305	6,694,573	6,880,732
定期預金	0	0	0
未収金	34,577,100	4,688,000	29,889,100
前払金	27,550	27,491	59
流動資産合計	48,204,673	11,434,667	36,770,006
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	53,770,000	53,770,000	0
基本財産合計	53,770,000	53,770,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	258,711	186,996	71,715
特定資産合計	258,711	186,996	71,715
(3) その他の固定資産			
什器備品	83,825	151,839	△ 68,014
その他の固定資産合計	83,825	151,839	△ 68,014
固定資産合計	54,112,536	54,108,835	3,701
資産合計	102,317,209	65,543,502	36,773,707
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	40,160,296	3,545,930	36,614,366
預り金	627,911	528,207	99,704
流動負債合計	40,788,207	4,074,137	36,714,070
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	40,788,207	4,074,137	36,714,070
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
県出捐金	20,000,000	20,000,000	0
市町村出捐金	22,770,000	22,770,000	0
商工会議所・商工会出捐金	11,000,000	11,000,000	0
指定正味財産合計	53,770,000	53,770,000	0
(うち基本財産への充当額)	(53,770,000)	(53,770,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(258,711)	(186,996)	(71,715)
正味財産合計	61,529,002	61,469,365	59,637
負債及び正味財産合計	102,317,209	65,543,502	36,773,707

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	146,978	400,218	△ 253,240
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
③ 受取補助金等			
受取県補助金	14,065,000	4,155,000	9,910,000
受取市町村補助金	40,020,000	32,753,000	7,267,000
市町村業務受託収益	30,038,100	750,000	29,288,100
④ 受取寄付金			
受取寄付金	—	—	—
⑤ 雑収益			
受取利息	755	637	118
雑収益	0	0	0
経常収益計	84,270,833	38,058,855	46,211,978
(2) 経常費用			
① 事業費			
最終処分場整備事業費	40,459,657	1,395,660	39,063,997
普及啓発事業費	350,841	369,951	△ 19,110
給料手当	17,943,473	11,440,961	6,502,512
法定福利費	5,010,609	3,401,181	1,609,428
福利厚生費	16,888	12,956	3,932
会議費	0	0	0
旅費交通費	716,976	513,395	203,581
通信運搬費	0	0	0
リース料	316,803	106,596	210,207
消耗什器備品費	0	416,942	△ 416,942
消耗品費	0	18,035	△ 18,035
印刷製本費	0	0	0
車両維持費	391,296	67,231	324,065
委託費	0	0	0
雑費	18,900	4,200	14,700
事業費計	65,225,443	17,747,108	47,478,335
② 管理費			
給料手当	15,039,712	15,061,642	△ 21,930
法定福利費	2,484,780	2,519,119	△ 34,339
福利厚生費	0	0	0
会議費	27,040	31,800	△ 4,760
旅費交通費	328,020	442,410	△ 114,390
通信運搬費	140,698	134,727	5,971
減価償却費	68,014	71,715	△ 3,701

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	68,628	70,217	△ 1,589
印刷製本費	225,928	704,736	△ 478,808
広告宣伝費	0	0	0
図書研修費	86,800	185,000	△ 98,200
諸会費	0	0	0
車両維持費	102,744	393,893	△ 291,149
光熱水料費	4,224	2,239	1,985
リース料	0	0	0
賃借料	342,580	293,640	48,940
支払手数料	62,685	68,460	△ 5,775
租税公課	3,900	8,200	△ 4,300
支払利息	0	0	0
雑費	0	0	0
管理費計	18,985,753	19,987,798	△ 1,002,045
経常費用計	84,211,196	37,734,906	46,476,290
当期経常増減額	59,637	323,949	△ 264,312
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	59,637	323,949	△ 264,312
一般正味財産期首残高	7,699,365	7,375,416	323,949
一般正味財産期末残高	7,759,002	7,699,365	59,637
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
① 受取負担金等			
県出捐金	—	—	—
市町村出捐金	—	—	—
商工会議所・商工会出捐金	—	—	—
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	53,770,000	53,770,000	0
指定正味財産期末残高	53,770,000	53,770,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	61,529,002	61,469,365	59,637

財 産 目 録

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金 手許有高	24,718	
普通預金 紀南農業協同組合・本所	631,508	
普通預金 紀陽銀行・田辺支店	12,943,797	
未収金		
受取市町村補助金精算分	4,539,000	
市町村業務受託収益	30,038,100	
前払金		
公務災害格差是正保険料	9,790	
図書購読料	15,000	
労働災害保険料	2,760	
流動資産合計		48,204,673
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金		
みなべいなみ農業協同組合・南部出張所	10,000,000	
紀陽銀行・田辺支店	10,000,000	
近畿労働金庫・田辺支店	10,000,000	
紀南農業協同組合・本所	10,000,000	
きのくに信用金庫・田辺支店	10,000,000	
第三銀行・田辺支店	3,770,000	
基本財産合計	53,770,000	
(2) 特定資産		
減価償却引当資産 普通預金		
紀陽銀行・田辺支店	258,711	
特定資産合計	258,711	
(3) その他の固定資産		
什器備品		
データプロジェクター	24,675	
ポータブルワイヤレスアンプ	59,150	
その他の固定資産合計	83,825	
固定資産合計		54,112,536
資産合計		102,317,209
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
(株)ジェーシービー 高速道路通行料金	34,700	
ソフトバンクテレコムパートナーズ(株) 電話料金	14,260	
給料手当・出張旅費	194,181	
(株)日建技術コンサルタント 最終候補地選定調査費H22年度分	39,389,300	

(単位：円)

科 目	金 額		
(株)紀陽銀行 インターネットFB手数料	4,935		
リコー関西(株) コピーサービス料	50,920		
和歌山県 受取県補助金精算分	472,000		
預り金			
源泉所得税及び住民税	627,911		
流動負債合計		40,788,207	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			40,788,207
正味財産			61,529,002

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	53,770,000	0	0	53,770,000
小 計	53,770,000	0	0	53,770,000
特定資産				
減価償却引当資産	186,996	71,715	0	258,711
小 計	186,996	71,715	0	258,711
合 計	53,956,996	71,715	0	54,028,711

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	53,770,000	(53,770,000)	(0)	—
小 計	53,770,000	(53,770,000)	(0)	—
特定資産				
減価償却引当資産	258,711	(0)	(258,711)	—
小 計	258,711	(0)	(258,711)	(0)
合 計	54,028,711	(53,770,000)	(258,711)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	410,550	326,725	83,825
合 計	410,550	326,725	83,825

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
廃棄物処理施設整備等事業費補助金	和歌山県	0	14,065,000	14,065,000	0	—
紀南環境整備公社運営費補助金	田 辺 市	0	21,432,000	21,432,000	0	—
〃	新 宮 市	0	4,731,000	4,731,000	0	—
〃	白 浜 町	0	5,844,000	5,844,000	0	—

						(単位：円)
補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
紀南環境整備公社運営費補助金	上富田町	0	1,861,000	1,861,000	0	—
〃	すさみ町	0	1,165,000	1,165,000	0	—
〃	那智勝浦町	0	2,479,000	2,479,000	0	—
〃	太地町	0	8,000	8,000	0	—
〃	古座川町	0	244,000	244,000	0	—
〃	串本町	0	2,256,000	2,256,000	0	—
合 計		0	54,085,000	54,085,000	0	

以上、その他の注記事項は、該当しないため省略している。

監 査 報 告 書

平成23年 5月26日

財団法人紀南環境整備公社

理 事 長 真 砂 充 敏 様

財団法人紀南環境整備公社

監 事 小 出 隆



監 事 瀬 古 伸 廣



一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条及び財団法人紀南環境整備公社寄附行為第20条の5の規定に基づき、平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年度財団法人紀南環境整備公社の財産並びに業務執行の状況について監査したので、次のとおり報告する。

1. 監査の概要

会計監査について、会計帳簿並びに関係書類の閲覧など収支計算書及び財務諸表の正確性を検証した。

業務監査について、理事会及びその他の重要な会議に出席するほか事務局から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など業務執行の妥当性を検証した。

2. 監査の結果

- ・会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録に記載の金額と合致していると認める。
- ・収支計算書及び収支計算書に対する注記、財務諸表及び財務諸表に対する注記は、法令及び寄附行為並びに公益法人会計基準に準拠し、財産状態及び収支状況を適正に示していると認める。
- ・事業報告書は、法令及び寄附行為に従い法人の状況を正しく示していると認める。
- ・理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実とは認められない。